

第 6 回自己免疫性胃炎の診断基準確立とその臨床病理学的意義に関する研究会 プログラム

1. 開会挨拶(9:20～)

川崎医科大学 春間 賢先生

2. 一般演題Ⅰ テーマ:自己免疫性胃炎と *H.pylori* 感染に関する検討 (9:25～10:05)

①自己免疫性胃炎に合併した胃癌の解析からみた pure AIG の診断と課題

がん研究会有明病院上部消化管内科 高須綾香先生

②Pure AIG と *H.pylori* 現感染・既感染 AIG における腫瘍発生を含む臨床的特徴の比較

湘南鎌倉総合病院 隅田ちひろ先生

③Pure AIG に合併した胃癌の検討

松山赤十字病院 池上幸治先生

④ 自己免疫性胃炎における多腺性自己免疫症候群、*H. pylori* 感染の関与の検討

– APS と Hp 関連による AIG の 4 群分類・臨床的意義

ふるた内科クリニック 古田隆久先生

3. 特別講演(10:15～10:45)

「胃粘膜の DNA メチル化異常と発癌リスク:AIG、HPG と NG」-

星薬科大学 エピゲノム創薬研究室 山田 晴美先生

4. 一般演題Ⅱ テーマ:前庭部・幽門腺領域の評価, その他(10:55～11:55)

① *Helicobacter pylori* 未感染胃における腸上皮化生の検討

島根大学医学部附属病院 末光信介先生

②問題提起:前庭部の内視鏡所見と組織所見

加古川中央市民病院 寺尾秀一先生

③穹窿部の透過性血管(TFM)を基にした AIG を自動診断する soft の開発

井野辺医院 那須眞示先生

5. 特別報告(12:00～12:20)

「AIG 診断のための新規抗壁細胞抗体測定キットの開発」

広島大学 伊藤公訓先生

6. 閉会挨拶 川崎医科大学 春間 賢先生